

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.33

2021年7月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



診療科紹介

産婦人科

登録医紹介

栃木県医師会 塩原温泉病院

病棟紹介

7階東病棟・6階西病棟

マイタウン・マイホスピタル

ミニニュース

お知らせ

ワクチン接種を
実施しました



～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

低侵襲手術と遺伝医療をはじめとした、 良質で安心な産婦人科医療を提供します

第二産婦人科部長 竹田 貴



白石院長(前列右)と産婦人科スタッフ一同

皆様、こんにちは。2020年4月より那須赤十字病院産婦人科に赴任しております。竹田貴と申します。当院産婦人科では、県北の産婦人科医療の中心を担うべく、産婦人科全般において専門性を高めつつ、安心・安全な医療を提供できるように努めています。

産婦人科って？

産婦人科は、人間の半分にあたる女性のトータルライフをサポートする非常に幅の広い診療科です。婦人科腫瘍、周産期、不妊症、女性ヘルスケアを大きな柱としていますが、近年その高度化が進んでいます。婦人科腫瘍自体は良性疾患である子宮筋腫や内膜症、悪性疾患である癌などがあり、それぞれに対する手術、薬物治療などがあります。低侵襲な手術である腹腔鏡手術、ロボット支援下手術の適応が広がり、新しい薬剤が続々と開発、使用されるようになってきています。周産期はまさにお産に関する医療ですが、近年の晩婚化・晩産化の流れの中で、リスクの高い妊娠・出産が増えています。不妊症は、周産期同様の流れにより、**※高度生殖補助医療(AART)**の選択が増えてきており、不妊治療の保険適用化に向けて注目されています。女性ヘルスケアにおいては、東京オリンピック決定後から女性アスリートを始めとした若年女性のヘルスケア、女性の社会進出を反映した全女性のヘルスケアが注目されています。**※高度生殖補助医療(AART)**…卵子や精子を体外に取り出して行う不妊治療のこと。



手術を行う産婦人科医師
(左：竹田、右：泉医師)

専門性は？

私は、赴任前は慶應義塾大学で診療にあたっており、婦人科腫瘍、特に腹腔鏡手術と遺伝性腫瘍を専門としてきました。女優のアンジェリーナ・ジョリーさんの遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)及びその発癌予防として予防的卵巣卵管切除、予防的乳房切除の手術を公表して以来、遺伝性腫瘍に対する認知度は飛躍的に上がりました。日本においても、HBOCの遺伝子検査の保険適用化やその結果に応じた治療薬の選択などが、一般的になってきています。これらの領域は特に専門分野なので、手術の方法で悩まれている方や婦人科癌で悩まれている方は是非ご相談ください。また、産科や不妊治療の研鑽も積んでまいりましたので、体外受精による不妊治療や地域周産期母子医療センターとしてのハイリスク妊婦の受け入れも積極的にこなしております。念願の妊娠、安全な出産のため、是非頼っていただきたいと思っております。

地域を支える那須赤十字病院産婦人科として

現病院長の白石悟先生の長年の指導のもと、当科の医師はみな誠実に信頼できる人です。外来・病棟のスタッフはみんな温かいです。これまでも、そしてこれからも地域を支える那須赤十字病院産婦人科であるように努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている各医療施設を紹介しています。
今回は「塩原温泉病院」の院長、森山俊男先生をご紹介します。

対象疾患：内科
得意分野：脳卒中のリハビリテーション
(特にニューロリハビリ)
温泉医療 地域医療介護連携



院長 森山 俊男

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

塩原温泉病院として那須赤十字病院はとも重要な病院で県北地域を視野に有意義な連携をさせていただいていると思っております。那須赤十字病院で主に救命、急性疾患治療を受けた患者さんでリハビリが必要な多くの患者さんの紹介を受けています。塩原温泉病院では、介護負担を軽くして家庭復帰、職場復帰していただけるような専門的な回復期リハビリの役割と共に、県の示す地域のリハビリを支援する県北リハビリテーションセンターとしての役割を担っています。地域での役割の異なる病院が互いに特徴を活かして地域の医療を高める目的でスクラムを組んで運営している印象で、言わば一蓮托生の病院だと思っています。

那須赤十字病院さんとはお互いに高め合い、地域の力になっていると思っており、少子高齢化社会が進行するなか、とてもやりがいのある仕事をさせていただいております。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

クラシック音楽、特にフルートの演奏を中学校の頃からやっています。現在、コロナ禍の中でコンサート開催が出来なくなっています。そんな中でもいつか演奏したいと思っている曲を2年ほど温めており、コロナウイルスが収束したら、県北リハフォーラムなど、イベントがあったら演奏したいと思っています。

地域の方々、患者さんへ一言お願いします。

塩原温泉病院は専門的なりハビリテーション病院として急性期病院さんと違った特性があります。那須赤十字病院のような急性期病院での治療は極めて重要です。高齢化社会の傾向として、病気が治った後に起こりがちな生活の不自由、例えば、

病気が治ったけれど歩けない、病気が治ったけれどトイレに行けない等の問題に陥りがちです。

ご高齢の方ほど不自由が起りやすいので、塩原温泉病院できちんとしたリハビリをしていただき、自立した質の高い生活を取り戻していただくように日々努力していきたいと思っております。またご家族の介護について、患者さん自身の症状を軽快させ、自立度を高め、全身状態の安定化、介護をしやすくする事や、訪問診療やかかりつけ医の先生とのきめ細かな安心と安全を目的とした退院支援、生活の質にも留意したリハビリフォローをすることが当院の使命であります。さらにコロナ禍の現状での日々の自粛生活が※1高齢者フレイル、自立度の低下の問題を拡大して、リハビリの役割が今まで以上にクローズアップされています。自宅療養中でも病後の生活上の不自由を改善したい、元の生活に戻りたいという患者さんのご要望にもできる限り添えるよう努めてまいります。

また、リハビリ訓練士が110名在籍し県内最大規模のリハビリセンターを有し、リハビリの改善度は、要介護度が平均2.5段階改善されています。その他、当院の特徴として、温泉利用リハビリ、スポーツリハビリ、※2ロボットスーツHalliなどでの麻痺治療の先進的なニューロリハビリ、※3パーキンソン病のリハビリ(LSVT) もリハビリメニューに取り入れていきます。

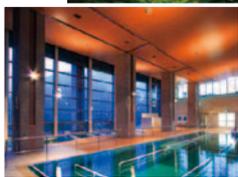
当院は、日光国立公園内にあり療養環境の整った病院です。国内でも最大規模の温泉リハビリ施設を有する病院で日々の入院生活や、リハビリにも温泉を利用しており、その成果を国内外へも情報発信しています。温泉を脳卒中や整形疾患のリハビリ訓練に物理療法として医学的に応用し、回復期リハビリの効果を促進させると共に、一般的な利用としてQOL、入院生活の質も高め、癒し効果が期待出来ます。春は新緑、秋は紅葉と日光国立公園内に位置する病院として、恵まれた自然の景色を楽しみながらリハビリを受けることが出来ます。当院の立地的に遠方になってしまふ、とのご意見がありますが、まもなく新しいトンネルが開通するというところで、利便性も格段に上がると思われます。

※1高齢者フレイル…加齢により心身が老い衰えた状態。
※2ロボットスーツHalli…身体機能を改善・補助状態。

基本情報

- 院長 森山 俊男
- 住所 那須塩原市塩原1333
- 電話 0287-32-4111
- 診療科目 内科、脳神経内科、内分 泌代謝内科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
- 休診日 土・日・祝祭日

助・拡張・再生することが出来る世界初のサイボーグ型ロボット。
※3パーキンソン病のリハビリ(LSVT)…大きく動くことを意識し、動作の大きさに焦点をあてて集中的に訓練すること。



病院内の温水プール

当院の看護部は約600人で構成されており、看護師・助産師・准看護師・保育士と様々な人員で構成され、個々の患者さんの状態に合わせた質の高い医療を提供します。第六回の今回は「7階東病棟・6階西病棟」を紹介します。



7階東病棟

7階東病棟看護師長 渡邊 信代

7階東病棟は、整形外科、形成外科を主とする45床の病棟です。ほとんどの入院患者さんは手術を目的としており、時代背景と共に高齢の患者様も多く入院されています。また、突然の事故などで精神的なダメージを受けている場合も少なくありません。平均入院期間約2週間程度のなかでも、医師・看護師、リハビリスタッフや臨床心理士等のスタッフと共に患者さんに寄り添い、あたたかく丁寧な看護を提供できるように取り組んでいます。



6階西病棟

6階西病棟看護師長 長山 美智子

6階西病棟は消化器疾患を中心に、検査・化学療法・放射線治療・その他治療・対症療法・緩和ケア等を目的とした、呼吸器、循環器、内分泌、神経内科など様々な診療科の患者さんを受け入れています。また退院前カンファレンスなどを積極的に行い、転院や在宅療養など、患者さんやご家族に合わせた療養環境が提供できるようスタッフ一丸となって支援・調整を行っています。

また様々な問題を抱えた患者さんとそのご家族に対して、それぞれの思いや価値観を大切にし、あたたかな看護に繋げるよう心がけています。

3月 3名の研修医が2年間の研修を修了

初期研修医修了式/3月23日(火)

研修医は、病院で勤務するための必要な知識を、医科大学で学び、より専門的な知識を身に付けるために当院で2年間研修を行います。今回研修を修了された先生方、おめでとうございます。今後のますますのご発展、ご活躍を心よりご祈念申し上げます。



修了された先生方とともに

那須赤十字病院後援会からの寄贈

那須赤十字病院後援会/3月23日(火)

那須赤十字病院後援会より、ドンキカート3台、スライディングマット1枚、車椅子3台の寄贈があり、正面玄関、病棟で使用させていただきます。

公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるよう御支援いただいております。



玉木会長より目録の贈呈

4月 新たな力が加わり新体制に

新入社員辞令交付式/4月1日(木)

那須赤十字病院に新たに86名の新入職員が加わりました。新入職員の皆さんは少し緊張した面持ちでしたが、事務部長からの言葉で少し緊張が解けたようで、交付式の終わりには柔らかな表情になっていました。



事務部新入職員の辞令交付式の様子

6月 救護訓練を実施

蛇尾川緑地運動公園/6月10日(木)

赤十字救護班、傷病者を救護する訓練をしているところです。一言で『救護』と言ってもたくさんの技能が必要であるため、赤十字救護班は、年に複数回訓練を実施しております。みなさんの安全を守るため救護班一同、誠心誠意がんばります。



傷病者救護訓練の様子

那須赤十字病院後援会総会開催

総会/6月21日(月)

勝田屋記念会館においてコロナ禍の中、感染対策を実施し2年ぶりに総会が開催されました。約30名の会員の方々が参加され、議事も無事終了となりました。

現在は個人会員が197名、法人会員が139件となり患者様が快適に療養できるような物品の寄贈や、コンサートの実施、協賛事業の実施など沢山のご協力をいただいております。

昨年度同様、新規会員募集の広報活動に力を注ぐ所存です。



2年ぶりの総会実施

病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

■掲載位置

A:全ページ左側の病院が指定する場所。

B:全ページ下部の病院が指定する場所。

■掲載寸法

A枠:縦70ピクセル×横220ピクセル

サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B枠:縦70ピクセル×横230ピクセル

サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

■募集枠

A枠:3

B枠:4

■掲載料金

A:15,000円/枠/月

B:10,000円/枠/月

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>



面会禁止

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則面会は禁止とさせていただきます。

下記に該当する方は

『開庁日』

19時までは総合案内・19時以降は防災センター

『閉庁日』

15時から19時までは「救急受付」・19時以降は防災センターにお声がけ下さい。

- ・病院からご家族に面会要請が出されている場合
- ・手術・検査等で来院しなければならない場合
- ・退院のお迎えに来られた場合
- ・着替え等の荷物を搬入する必要がある場合
- ・必要な付き添いをする場合等

なお、院内ではマスクの着用と手指消毒をお願いします。

那須赤十字病院長・院内感染防止対策委員会

今月の表紙



現在、各市町村でもコロナワクチン接種が進められていますが、当院でもコロナワクチン接種が始まりました。対象は65歳以上で、大田原市在住の当院かかりつけ患者さんです。職員が協力しあい、感染対策を行いながら、順調に実施されています。

編集後記

2021年も半ばにさしかかろうという時期ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスもワクチンが開発され、ようやく収束に向け動き出したところとあります。

私はといえば相棒のゲーム機が壊れて意気消沈しているところとあります。中にディスクが入ったままなこともあり、何とか修理に出してみようかなどか思っていたりします。

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください！

抽選で3名様に「CroKuma 救護服ぬいぐるみ」「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵送 / 〒324-8686 大田原市中田原 1081-4

那須赤十字病院 総務課

プラタなす第33号 プレゼント係

FAX / 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第33号 プレゼント係」

メール / nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第33号 プレゼント係」

●応募締切り 2021年8月31日(月)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

那須赤十字病院

基本理念

日本赤十字

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.33

発行日 2021年7月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷